

2015年度 瀬戸内海文化研究・活動支援助成
【C】犬島パフォーミングアーツ助成採択事業

URA-SHIMA 公演のお知らせ

公益財団法人 福武財団は、2015年度から瀬戸内海文化研究・活動支援助成の新規プログラムとして「犬島パフォーミングアーツ助成」の公募を行っています。この度、2015年度の採択事業「URA-SHIMA」(NPO法人アートファーム)の公演が行われますので、お知らせいたします。皆様には、告知へのご協力をよろしくお願いいたします。



【公演趣旨】

岡山市東区の瀬戸内海に浮かぶ犬島には、いわゆる“浦島太郎”状態とも形容するような、ぽっかりと空いた時間の“空白域”のような場所や事象があります。例えば、近代化産業遺産の遺構に刻まれた夢の痕跡、石材業の興亡が物語る人の流転、過疎化と高齢化に見舞われてきた負の現実…等々。その“空白域”を埋める営為を続けてきたのが、アートファームが2002年から取り組んできた舞台芸術の創造発信事業です。

新作『URA-SHIMA』は、産業の島からアートの島へと変貌する犬島と、浦島太郎伝説の時間と虚構のロジックを用いて描く幻想と現実の物語。瀬戸内海の多島美が広がる海水浴場や、明治・大正期の銅製錬所を美術館として保存活用した近代化産業遺産を舞台に、俳優と風景が解け合いながら、演劇とダンスがコラボレートした作品が誕生します。犬島を舞台に繰り広げられる観客参加型の移動野外劇を創作するのは、斬新な演出で全国の劇場・劇団からオファーの相次ぐ小野寺修二と、昨年度日本劇作家協会新人戯曲賞と岡山芸術文化賞準グランプリを受賞した角ひろみ。いま日本の演劇界において括目される二人のクリエイターが、初めてタッグを組んで挑む犬島綺譚ともいべき野心作です。

【日時】平成27年10月17日(土) 12:00～/15:00～ 10月18日(日) 12:00～/15:00～

【会場】犬島・海水浴場、「犬島精錬所美術館」敷地内近代化産業遺産

【脚本】角ひろみ(劇作家。第4回近松門左衛門賞受賞、第20回日本劇作家協会新人戯曲賞受賞)

【演出】小野寺修二(演出家、振付家、デラシネラ主宰。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞)

【キャスト】王下貴司 竹内英明 野坂弘 田中博士 藤田桃子 小野寺修二

【料金】各日時指定/全席自由/税込

一般前売3,500円 一般当日4,000円 高校生以下1,000円(前売当日共通) ※チケット発売中

プロデューサー:大森誠一

企画製作:NPO法人アートファーム

【公演・取材に関する問い合わせ】 NPO法人アートファーム

〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-5 栗山ビル402

TEL=086-233-5175 FAX=086-294-3764 URL=http://www.artfarm.or.jp E-mail=info@artfarm.or.jp

あらすじ

その男はあの箱を探している。
遠い昔のあの約束の別れからどれくらい時がたったのか。
今どこの海辺にいるのか。
もういろいろと忘れ去られた。
男も箱もそれから亀も女も、はなればなれに長い歳月を漂った。
そして今日、その島に漂着する別の男がいる——。別の女もいる——。
彼らが信じた海の底の王国の伝説を探して巡り、歩き、体感する、時の変貌と経過の物語。
島のウラの異世界を探訪するように、第1の上演会場である浜辺の波打ち際から、
第2の上演会場である近代化産業遺産に海の底深くに沈んだ夢の痕跡をなぞらえながら、
悠久の時を隔てた犬島の変わりゆく風景の中を、終章の第3の上演会場へと向かう——。

プロフィール

小野寺 修二(おのでら しゅうじ)

演出家。カンパニーデラシネラ主宰。日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。95年～06年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後カンパニーデラシネラを立ち上げる。作品はマイムの動きをベースに台詞を取り入れた独自の演出で、世代を超えた観客層の注目を集めている。主な作品として、『カラマーゾフの兄弟』(12年新国立劇場)、『変身』(14年静岡芸術劇場)等。また、瀬戸内国際芸術祭2013にて屋外劇『人魚姫』、海の劇場2014学校でひらく舞台芸術教室演劇公演『ロミオとジュリエット』など、劇場内にとどまらないパフォーマンスにも積極的に取り組んでいる。近年は、音楽劇や演劇などで振付の担当もしている。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。

角 ひろみ(すみ ひろみ)

兵庫県尼崎市出身。1995年「芝居屋坂道ストア」旗揚げ。99年『あくびと風の威力』で第4回劇作家協会新人戯曲賞佳作・北海道知事賞 受賞。以降、劇団全作品及び外部での作・演出を手がけ、関西を中心に活動。2005年同劇団解散。06年 結婚により岡山へ。08年『螢の光』で第4回近松門左衛門賞 受賞。14年『狭い家の鴨と蛇』で第20回劇作家協会新人戯曲賞 受賞。14年『囁谷シルバー男声合唱団』で第59回岸田國士戯曲賞 最終候補。15年 第16回岡山芸術文化賞 準グランプリ 受賞。現在は岡山に居住しながら東京や関西などの団体に台本を書き下ろして活動。地域の言語を生かした独自のリズムの詩的で自然な会話体で、日常と生の不条理をユーモアと痛みを込めて描き出す。

主催・共催・後援・助成

主催=特定非営利活動法人アートファーム

共催=岡山市/岡山市芸術祭実行委員会/(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団

後援=岡山県、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、読売新聞岡山支局、毎日新聞岡山支局、NHK岡山放送局、

RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、oniビジョン、エフエム岡山、レディオモモ(順不同)

助成=公益財団法人福武財団

【公演・取材に関する問い合わせ】 NPO法人アートファーム
〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-5 栗山ビル402
TEL=086-233-5175 FAX=086-294-3764
URL=<http://www.artfarm.or.jp> E-mail=info@artfarm.or.jp